



2025年版 NCPR アルゴリズム

目標SpO2値	
経過時間	SpO2値
1分	60%以上
3分	70%以上
5分	80%以上
10分	90%以上

体温維持
応援要請の検討

ブリーフィング
役割分担・物品確認

出生

・早産児
・弱い呼吸か啼泣
・筋緊張低下

すべて認めない

ルーチンケア
保温
気道開通
皮膚乾燥
更なる評価

いずれかを認める

* 保温、体位保持、気道開通
(胎便除去を含む) 皮膚乾燥と刺激

呼吸・心拍
自発呼吸ありかつ
心拍100 /分以上

努力呼吸
チアノーゼ(酸素化不良)

共になし

自発呼吸なし
あるいは心拍100 /分未満

どちらかあり

* 人工呼吸 (a)
SpO2モニタ装着
ECGモニタ装着を検討

SpO2モニタ装着
必要時CPAPまたは酸素投与

100 /分以上
心 拍

改善あり
努力呼吸
チアノーゼ(酸素化不良)

共になし

換気が適切か必ず確認
気管挿管を検討 (b)

60~100 /分未満

* 人工呼吸 + 酸素 と 胸骨圧迫 (1:3) (c)

原因検索を行いながら
・努力呼吸と酸素化
不良が共に続く場合は
人工呼吸を検討
・酸素化不良のみ
続く場合はチアノーゼ性
心疾患を鑑別

蘇生後のケアと
観察
・呼吸
・心拍
・ SpO2
・体温

心 拍
60 /分以上
60 /分未満

* アドレナリン投与を検討

心 拍
60 /分以上
60 /分未満

人工呼吸と胸骨圧迫に加え以下を検討
・原因検索
・生理食塩水投与 (出血が疑われる場合)
心拍 60 /分以上に回復したら人工呼吸へ戻る

(a) 改善がなければ酸素投与を検討

(b) ・胸骨圧迫前に有効な換気の確保に努める
・挿管前に声門上気道デバイスを検討しても良い

(c) 2秒間を1サイクルとして施行

* 気管挿管を考慮